



Kitsuki Shigikai
Dayori

きつき市議会だより

平成 29 年 2 月 15 日発行



議案等審議結果

※案件名は、一部省略し掲載しています。

平成28年 第4回 定例会概要

平成28年第4回定例会（12月議会）が12月5日に開会され、
12月19日までの15日間の会期で審議されました。
この12月議会では、23議案（同意・議員提出議案を含む）が
審議され、左記のとおり結果となりました。

定例会日程

12月5日(月)
本会議(開会)

12月8日(木)
本会議(一般質問)

12月9日(金)
本会議(一般質問)

12月12日(月)
本会議(一般質問)

12月13日(火)
産業建設常任委員会

12月14日(水)
厚生文教常任委員会

12月15日(木)
総務常任委員会

12月19日(月)
本会議(閉会)

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
104	平成28年度杵築市一般会計補正予算（第5号）	可決
105	平成28年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
106	平成28年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
107	平成28年度杵築市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
108	平成28年度杵築市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
109	平成28年度杵築市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
110	平成28年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
111	平成28年度杵築市立山香病院事業会計補正予算（第2号）	可決
112	杵築市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
113	杵築市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決
114	杵築市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
115	杵築市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決
116	杵築市税条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
117	杵築市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
118	杵築市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	可決
119	杵築市病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決
120	杵築ふるさと産業館及び杵築市農畜産物加工センターの指定管理者の指定について	可決
121	杵築市社会教育文化財施設の指定管理者の指定について	可決
122	市道の路線認定について	可決
123	平成28年度杵築市一般会計補正予算（第6号）	可決
124	平成28年度杵築市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
〔報告〕		
23	専決処分の報告について	報告
〔諮問〕		
7	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
〔議員提出議案〕		
6	子どもの貧困対策の具体的推進を求める意見書	可決
〔請願・陳情〕		
5	守江・野辺地区の排水処理対策について	継続審査
8	野辺区内生活道の市道編入について	採択
9	狩宿東部地区内生活道の市道編入について	採択
10	犯罪被害者等の支援に関する条例制定を求める請願	採択



議会運営委員会視察報告（愛媛県八幡浜市）

八幡浜市議会の議員定数は16人で、3つの常任委員会を設置し、3名の議員が重複して2つの常任委員会に所属している。また、議長を除く全議員で構成する行財政問題調査と議会改革の2つの特別委員会を設置している。本市とは、予算・決算審査ともに審査日程など運用が異なる部分があり、それぞれの審査が更に充実するよう視察事項を杵築市議会に取り入れていく必要がある。



議会活性化特別委員会視察報告（長崎県壱岐市）



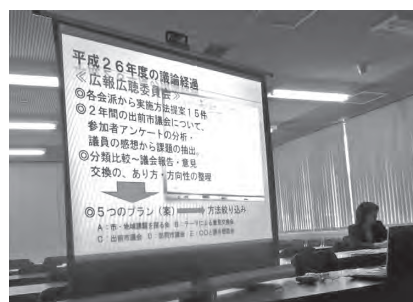
壱岐市議会では27年にタブレット端末を導入し運用している。導入したことにより行政文書のペーパーレス化、議案書作成に要するコスト削減と職員の労力軽減、議会運営及び審議の効率化が図られている。導入する自治体も増加傾向にあるので本市議会でも導入に向けた検討を行いたい。



広報広聴委員会視察報告（山口県山陽小野田市、下松市）

山陽小野田市議会では早稲田大学マニフェスト研究会が行う議会改革度ランキングにおいて45位と西日本では上位に入っている。議会からの情報発信に力を注いでおりSNSを利用し子育て世代や若い世代にも議会の情報を発信している。

下松市では、高校生と議会との意見交換を行い、政治意識の向上を図っている。高校生に関心を持ってもらうために創意工夫がなされていた。若い人からの意見を聞くのに大変意義のある取組である。



請願陳情第8号

付託委員会 産業建設常任委員会
行政区 野辺区（杵築地域）



野辺区内生活道の市道編入について

【内容】

現在使用している生活道路を市道に編入してもらいたいとの要望です。



請願陳情第9号

付託委員会 産業建設常任委員会
行政区 狩宿区（杵築地域）



狩宿東部地区内生活道の市道編入について

【内容】

現在使用している農道を市道に編入してもらいたいとの要望です。





平成28年第4回市議会定例会では、12月8日・9日・12日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、14名の議員が諸問題について質問しました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



あべ もとなり
阿部 素也議員

地元管理の飲用水道施設について

問 日出町において、地元管理の飲用水道施設で死亡事故が発生したが、市内の同様の施設についてどこまで把握しているのか。

答 3戸以上の共同利用で77組合がある。維持管理は地元が行っているので設備の状態や管理体制などは把握していない。

問 今後調査する必要があると思うが。

答 その予定はない。法的に求められれば対応する。

問 同じ杵築市に住んでいても、水道料さえ払っていれば行政がすべて対応してくれる方もいれば、料金の高い・安いはあるが水質のチェックから施設の維持・管理、あぐく料金の徴収まですべて地元独自で行わなければならない方がいる。あるべきではない格差だと思う。法的に責任がないからと言ってこの問題から目をそらすに、この機会に対応をお願いしたい。

市職員の地元居住について

問 市の職員の方には、杵築市内に住んでほしいと思っているが、現在の状況は。

答 一般行政職の事務職員320名中、市外居住は55名、近年は

大きく変化はない。

問 市として昨年策定した「まち・ひと・しごと総合戦略」は、人口流出に歯止めをかけるためのものであり、それを推進していかなければならないはずの市の職員の方が市外に住んでいるというのは一般市民の感情としては納得できないと思うが、今後の方針は。

答 危機管理の点や、現在すすめている「協働のまちづくり」の観点からも重要な課題だと認識している。採用時には市内居住を希望している。職員としての責務の自覚が必要。今一度確認させる。どうしても家庭の事情で市内に居住できない場合は、積極的に担当地区で住民の方々とコミュニケーションづくりをするよう指導したい。

建設工事の発注方法について

問 今後予定されているある程度の規模の工事に市内の業者が入札参加できない恐れがある。J・V方式等に対応してもらいたいが。

答 指名委員会等の中で市内業者の受注機会確保を大前提として審議をしている。今後の大規模工事についてもJ・V方式の適宜を含めて審議していく。

問 せっかく職員の方々が苦勞して作った予算なので、市内に還流させてほしい。そして市内業者を育成するという立場でお願いしたいという思いである。



おの よしみ
小野 義美議員

農業問題について

問 平成28年度産米の収穫現状は。作況指数は1000の平年並みであるが、県農協の検査総評等で収量・等級共に低下したとの認識である。

答 米食味コンクールは出品の締切が早く間に合わなかった。また、品種は県の奨励品種にしてはという声を聞く。

問 全国大会の締切の日程から設定した。全国大会は品種を限定していないので合わせた。

答 杵築ブランド米認証制度を設け、栽培、販売促進をしては。

問 杵築ブランド米化については研究を行っている。

答 昨年の生活子育て応援米の成果、継続については。

問 実績としては9,216名に米5kgを配送し、おおむね好評だった。事業費は2,212万円で全額国費で行った。単年度事業で継続は困難であると判断している。

答 収穫時の長雨でワラの収穫が減少している。ワラの確保対策、また畜産の敷物用材おが粉対策は。

問 ワラ確保が厳しい状態にあり、おが粉の確保に全力を尽くしている。

答 市道の維持管理について

問 市道総延長976kmの年間維持管理費は。

答 27年度は約1億5千万円で1km当たり15万円である。

問 高齢化行政区支援は。

答 44行政区70団体で、m当たり20円の支援で527万円である。

問 区長より市道の状況集約を行っているのか。

答 道路の異常等は区長より通報してもらい早急な対応をしている。

問 支障木の管理責任の所在は。事故が発生した時は、所有者の責任を問われる場合（民法717条）がある。

答 常時の市道の点検体制は。杵築地域は2名体制で山香・大田地域は活性化センターに委託し、常時点検補修を行っている。

問 JR中山香駅の現状について

答 駅無人化後の対策の現状は。4月1日より無人化対策として市費128万円を計上し、委託管理を行っている。

問 勤務時間の設定は。

答 勤務時間は予算やJRの助言等で午前7時から午後1時まで設定している。

問 エビネマラソン等のイベント時の駅員の勤務延長の応用は。

答 利用が多いエビネマラソン等の日は時間延長を検討したい。窓口利用での収益は。

問 定期券で1.8%。他の乗車券で5%の販売手数料が市に入る。年間清掃等をしている中山香駅を考える会への支援、山香のPR等に思いを寄せる風の会への指導等に力を入れ、山香の玄関口として守っていただいたい。

問 27年度は約1億5千万円で1km当たり15万円である。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



たはら ゆうじ
田原 祐二議員

観光協会等へのAED設置について

問 観光協会等、土日でも営業し、人が多く集まる事業所にも、いざという時のためにAEDを設置してはどうかという声を聞くが、そのような意見は把握しているのか。また、そういう事業所には設置すべきではないか。

答 現在、そのような意見は何一つない。経費の関係で、全ての施設に設置するとはいかないが、いざという時には必要なことであり、ふるさと産業館の正面玄関に観光協会が運営する観光案内所を開設しているの、そこにAEDを設置したいと考えている。また、観光文化施設にも緊急の際の対処方法について事前協議し、いざという時のために備えておきたいと思う。

問 就農者の育成について

答 市では、就農者に対して、農業技術等を学ぶ講習会等を開催する予定はあるのか。また、農業の現状は厳しいが、新しい発想があれば、誰にもチャンスがあるので、人材育成等の開催により次世代の人材を育成すること、大事ではないか。

問 現在、実施していないが、県で行っている農業経営講座やセミナー等の開催による様々な対象者への就農支援に市としても情報提供やPRをしている。また、ハード面の新規就農支援策に加え、技術面や経営面に対するサポート体制をより充実したものにするためにも、農業セミナーのような事業を行いたいと考えている。最近就農したイチゴ農家は順調に生産しているようだが、他品目についても後継者の確保が図れるよう関係機関と検討していきたい。若い生産者の人材育成を図り、意欲にあふれた生産者の力を借り、農協と連携をとりながら推進していきたい。

問 空き家対策について

答 今にも崩れそうな空き家は、たとえ「特定空家」に認定されてもすぐには解体されないと思う。倒壊の危険性等に対する対策はないのか。

問 万が一の事故が無いように、特定空家の所有者に、補助制度について周知を行い早急に解体するよう指導を行っていく。また、今後は市報等で市民の皆様に危険な空き家の情報提供を呼びかけ、特定空家に認定されるような危険な空き家が発覚した場合は、迅速な対応を行っていききたいと思う。

問 現在、実施していないが、県で行っている農業経営講座やセミナー等の開催による様々な対象者への就農支援に市としても情報提供やPRをしている。また、ハード面の新規就農支援策に加え、技術面や経営面に対するサポート体制をより充実したものにするためにも、農業セミナーのような事業を行いたいと考えている。最近就農したイチゴ農家は順調に生産しているようだが、他品目についても後継者の確保が図れるよう関係機関と検討していきたい。若い生産者の人材育成を図り、意欲にあふれた生産者の力を借り、農協と連携をとりながら推進していきたい。

問 現在、実施していないが、県で行っている農業経営講座やセミナー等の開催による様々な対象者への就農支援に市としても情報提供やPRをしている。また、ハード面の新規就農支援策に加え、技術面や経営面に対するサポート体制をより充実したものにためにも、農業セミナーのような事業を行いたいと考えている。最近就農したイチゴ農家は順調に生産しているようだが、他品目についても後継者の確保が図れるよう関係機関と検討していきたい。若い生産者の人材育成を図り、意欲にあふれた生産者の力を借り、農協と連携をとりながら推進していきたい。



なかやまだあきのり
中山田昭徳議員

県道大田杵築線迂回路の整備について

問 地滑りの復旧には1年以上かかる予想される。冬期になると迂回路は凍結も予想され、ガードレール等の安全対策が急務であるがその対策は。

答 県は看板の設置、路面や側溝の清掃を随時実施している。積雪時には、融雪剤の散布等を予定している。市は草刈りの回数を増やし、カーブミラーの更新や新設を12か所実施した。道路の区画線の設置や、危険箇所にはガードレールを設置した。今後も安全性向上のための協力を県としていく。

復旧時期はいつ頃になるのか。

問 現段階では未確定だが、県は石山ダムに係る橋梁工事の全面開通予定の平成30年度末までには、遅くとも地滑りの復旧工事を完了するとしている。また、工事途中において、片側の通行が可能となれば通行規制を変更して通行させる考えである。

公園使用料の減免制度について（酢屋の坂下広場）

問 酢屋の坂下広場は、平成25年に条例を制定し、第一条に「市民及び観光客の交流を促進し、にぎわいを創出する為、酢屋の坂下広場を設置す

る」とある。しかし、市民がにぎわい創出のために広場での事業を企画した時、使用料が高額のため、使用を断念したこともあると聞いている。条例の理念に沿った減免制度が必要ではないか。

新図書館について

問 館長はしかるべき人材を登用するということだったが用途は立っているのか。

答 大分県立図書館、沖縄県公文書館での勤務の他、海外図書館での研修経験がある男性を候補者として最終調整している。

問 新図書館の緑地帯として隣地の天満児童公園を整備してはどうかという議会での提案に対して、設計が確定してから考えたいとの答弁だったが、検討は始めているのか。

答 図書館と一体的に調和のとれた公園としての整備を、新館長、子ども子育て支援課、所有者である天満社と協議をしていきたい。



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



たなかしょうじ
田中正治議員

ラグビーワールドカップや国民文化祭への杵築市の対応策について

問 平成30年には大分県で二巡目の「国民文化祭」が、また平成31年にはラグビーワールドカップが開催される。両開催期間中、世界への情報発信や観光客の往来が期待される。杵築市はどのように対応するのか。

答 外国人観光客の受入態勢として、自由にスマートフォンや携帯電話が使えるよう城下町内にフリーWi-Fiを整備した。また、全国への先駆けとなる多言語音声ガイド付観光パンフレットを作成し、別府や湯布院などの外国人観光案内所や宿泊施設などに配布した。日本語、英語、中国語、韓国語の音声で観光案内と目的地までの道案内ができるようになっていく。また、先月観光協会職員がヨーロッパへ赴き、本市の情報発信や誘客活動を行った。

住民自治協の組織強化について

問 住民自治協議会の組織強化を図ることはできないか。

答 住民自治協議会は、地域で活躍する人や組織がこれまで以上に連携を深め、それぞれの得意分野で力を出し合い、まちづくりのための協働を進める組織となってもらいたい。住民自治協を通じ、地域の問題解決を自ら行う、広域的な活動をしていただけていると思う。

市道の支障木等の対策について

問 市道の支障木の伐採が未だ実施されていない場所の対応は。

答 550万円の予算であったが、現在、18路線において実施し消化している状況。巡回バス等が通行する路線を優先的に実施しているが、まだ、要望箇所があるため今回補正で200万円の増額を計上している。

保健体育費の交付金や補助金について

問 各種団体の保健体育費の交付金、補助金をカットしたのはなぜか。

答 合併後10年を経過して、行政改革推進委員会の提言や行政改革の一環として、また、公平性・公正性を確保するためにも、再度抜本的な見直しも必要であるが、提言を踏まえて、今回4つのスポーツ大会の交付金を廃止した。

小熊山古墳、御塔山古墳の整備について

問 狩宿区に存在する小熊山古墳、御塔山古墳の保存・整備は。

答 国の指定を受ければ、墳丘の形がよくわかるように整備され、標識、説明板、ベンチ等の施設整備、講演会、企画展の開催及び保存活動などに国、県の補助が受けられる。



まさお 前田
真砂 矩男議員

教職員の超勤問題について

問 最近、文科省も県教育委員会も学校現場における業務の適正化に向けて、特に教職員の長時間労働が深刻化しており、いろいろな通知、報告がなされていると思う。教職員の意識改革や使用者である教育委員会、管理者の労働関係法令への認識を深め、事態の是正が求められている。教職員はどれだけ長時間労働をしているのか。実態把握はしているのか。

答 全校対象の実態調査で昨年は小学校教員が1か月68.8時間、中学校で77.4時間、時間外勤務を行っている。

問 超勤時間の届出なり記録はあるのか。

答 日々の記録については学校にも市教委にもない。

問 記録がないのは問題ではないか。超勤を命じていないが実態として違反の状況であることは十分認識している。

問 最近、大手の広告会社の女性社員の過労死、一昨年7月姫島中学校の46歳女性教員が教室で倒れ意識不明、献身的な看護が続いたが9月に

永眠された。彼女の公務災害認定請求の中では熱心に記録していた時間外勤務、持ち帰りも含めて100時間を超す勤務記録表が決定的な決め手となり重要な証拠資料となった。長時間労働の実態が法令違反だという認識があるのか。

答 学校長が時間外勤務を命ずるといったことはほとんどない。教職員の職務上膨大な時間外労働を行っており基準を超えるものになっている事は十分認識している。

問 教員には時間外手当の代わりに教職員調整手当、月給の4%特別手当があるからといって、残業を野放図にしていることにはならない。改善のために具体的にどんなことをしているのか。

答 県教委も学校現場の負担軽減ハンドブックを作成し改善に努めているし、市教委も会議や研修、提出物が多すぎないよう努力している。また、各学校でノー残業デーも設けている。管理職を含め実行できるようにしたい。

問 教職員が安心して働き続けられ子どもと向き合う時間が十分確保できる。そういう施策と市当局も教職員の負担軽減のため学校現場への支援教員の増員等を要請する。

※ため池の維持管理や「道の駅」整備についての質問は省略します。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ありた しょうじ
有田 昭二議員

未婚の若者対策について

問 未婚の若者対策についての考え方は。

答 婚活に関するイベントを支援している。春に4組、夏に3組、秋に3組成立している。

上水道について

問 杵築の水道水は不味い。水源を変更するか、水道水が美味しくなるような施策を講じたらどうか。

答 現在、老朽化した浄水場を更新するため実施設計をしている。新しい浄水場では活性炭処理を導入する。

問 市の財政が厳しいので、最低制限価格を廃止したらどうか。

市長の政治姿勢について

問 永松市長就任以来職員の不祥事等いろいろな事案が16件ほど発生している。市長として責任を感じないか。植木市長、石田市長、八坂市長と3代の市長と市政に関わってきたが、このように連続して不祥事が発生したことは記憶していない。永松市政を俯瞰すると市長として何か欠落しているような気がする。しっかりガバナンスを発揮したらどうか。

答 私のガバナンスの不足するところだと思う。私自身も含め指導に邁進したい。

問 中期財政収支試算の概要をみると、一般会計は29年度には3億3,000万円の赤字になり、38年度まで毎年赤字が続く、経常収支比率も80%を超えると言われるが、37年度には105%近くにまでなる。市長としてどのような施策を考えているのか。

答 地域包括ケアシステム等福祉関係、また農業関係で頑張っていく。

問 活性化対策に対しての考えは。

答 第一次産業の振興なくしては、杵築市の振興はないと考えている。また、医療、介護、保険を市内で循環させることで活性化を図りたい。

問 第一次産業で活性化を図る事はナンセンスな発想だと思ふ。市民のモチベーションアップのため、特別職の歳費の見直しをしたらどうか。

複線化について

問 複線化工事のトップは広瀬知事が知事をリードして複線化を実現したらどうか。市が応分の負担をしても杵築市としてコストパフォーマンスは成立すると思うがどうか。

答 国東半島の魅力をJRに売り込んで複線化が実現するよう頑張りたい。



こはら 小春
みづる 稔議員

市長の政治姿勢について

問

三期続いた八坂市政からのバトンタッチであったが無投票当選という結果となり、市政への抱負や考え方が市民に浸透しないまま3年を経過している。この3年間で振り返って今の気持ちを市民に向けてお願いしたい。

答

市長になった時は誰もが住み慣れたこの杵築で安心して生活ができる「健康で活力ある安心の杵築市」を目指して取り組んだ。農業や商業の後継者、担い手が圧倒的に不足している。そして周辺地域は過疎・高齢化の厳しい状況が続いている。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成し、農林水産分野では生産者の所得向上に尽きる。特産品の育成にさらに努力したい。国東半島が世界農業遺産として認められ七島イの復活、山香農高の跡地を利用した生薬栽培も取り組み始めた。また、観光では着物レンタル観光も1万人を超え外国人のインバウンドも進めている。福祉関係では福祉推進課、子ども子育て支援課、健康長寿あんしん課を新設した。市民一人一人に焦点を当て健康推進、健康寿命の延長に繋げていく。

「柑橘興市」と定住促進構想について

問

杵築市は昭和30年〜40年にかけて県内外より多くの入植者が開拓し柑橘の一大産地として市産業の中心として発展してきた。柑橘団地も今は奈狩江パイロット団地1か所のみとなっている。そのパイロットも後継者不足や高齢化で栽培をやめたり減反する生産者が増えている。私はこの最後の団地を残してもらいたい。県外の入植者を受け入れた実績もある。パイロットは三反が一区画で丁度よい面積である。受入サポートを確立して「定年後は杵築市でみかん栽培を楽しみませんか」と、こういった方々をターゲットにして柑橘栽培を楽しみながら定住促進を図って奈狩江パイロット団地を守る。全国への発信はできないか。

答

現在杵築市では移住者の受入策として専業ではなくて兼業や小規模で農業を行ってもらう移住パッケージを作っている。議員からいただいた提案については移住パッケージに適合する事例になると思う。今後、詳細にお話しを聞かせていただき移住パッケージの中できちんと対応できるようにしていきたい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



かき 加来 喬議員

地域医療と山香病院について

問

人口減少で山香病院の患者減少が避けられない状況で138床を山香地域で建替えた場合どんな事が予想されるのか。

答

山香病院の病床利用率は、現在97%で全国でもトップクラスだが、入院患者6割の山香地域の患者が減ると収支が悪化する。山香地域に138床で建替えると平成50年度で利用率82%（2億3千万円の赤字）、平成60年度で利用率71%（3億6千万円の赤字）になると予想している。

問

平成25年度1億8千万円の赤字を、職員の皆さんの努力で平成27年に収支が改善したが、今以上の経営努力は可能か。

答

収支が改善出来たのは職員全員ががむしやりに頑張った成果。赤字は解消できたが、これが精いっぱいである。

問

2〜3億の赤字を抱えると規模縮小か税金での赤字補てんしかないがどう考えているか。

答

まず一般会計からの補てんを検討する。規模縮小すれば医師が減り専門医の派遣もなくなる。患者が離れ経営が悪化。さらに規模縮小する悪循環に陥ると考えている。

問

病院建替えの問題認識と解決は。市内の入院費の60%が市外へ流出している。杵築地域は大幅な不足、山香地域は過剰傾向で医療資源の偏在がある。民間病院の後継者不足に加え、人口減少による医療需要の減少が本市の課題。医療課題を解決するため、市内全体を見た医療環境整備が必要。解決方策を在り方検討委員会でも議論してもらいたい。

問

市立病院が果たすべき役割とは。現場の意見だが、高度急性期医療は今後も別府市の病院と連携していくが、脳卒中などの急性期患者を引き受ける市立病院であるべき。開業医の先生方とも連携を深め、市全体の急性期医療を担う市立病院として杵築市全体で展開したい。

問

山香病院の全ての病床を移すわけではないと明言すべきでは。山香の医療レベルを落とさないのが基本。

問

山香地域から病院をなくさないというメッセージを示し、解決策を丁寧に説明して住民の合意形成を図る必要がある。市の方針を明確にして検討委員会へ指示を出し直し、合意形成のためのタウンミーティングを行う考えは。

答

建替えには多額の投資が必要。30年後も存在する病院にむけ、検討委員会でも様々な角度から引き続き検討を行っていただきたい。タウンミーティングは開催に向けて検討したい。



わたなべ ゆうじ
渡辺 雄爾議員

市立山香病院の建設について

問 在り方検討委員会までどこまで進んでいるのか。

答 第1回検討委員会では、市の医療、今後の見通し、病院の現況、大分県地域医療構想、市民アンケート調査について。第2回検討委員会では、市総合戦略における人口の将来展望について及び現病院の将来予測について。第3回検討委員会では人口データの違いによる比較、在宅医療の現状について、山香病院を取り巻く環境と患者分析、建替えシミュレーションを行った。

問 既存施設リニュアル、隣接の福祉ステーションを病院として活用するに民間的手法を用いて建設できないか。

答 病院本館は昭和55年の全面改築以降複数回にわたり増改築を繰り返しており大規模改修を行って耐震性、耐久性を求めている10年から20年で再度建替えを検討する必要があるためリニュアルは困難である。

小学校の廃校について

問 上小学校廃校後の地域の伝統芸能である神楽等は統合校の学校教育の中に存続できるのか。

答 これからは指導者の協力がいただけなのであれば、統合後も子ども神楽が継承できるよう市教委

としても校長、保護者、地域の方と話を進め継承できるようにしていきたいと思う。

問 大田地域を含め山香4校のスクールバスの運行計画は。

答 安全のためコミュニティバスの停留所での乗降を原則としている。子どもは毎年卒業し、新しく入学してくるので運行コースは毎年度変更するようにしている。

問 スクールバスは年間の経費が年400万位かかるが将来運行を取りやめる事はないか。

答 運行を取りやめることは考えていない。

校区について

問 保護者が希望する校区に通わせることはできないか。将来通学規則を変える検討をしていただきたい。

答 親の希望でこの学校にでも通学することはできない。児童数に大きな変動があった場合、校区の見直しなど必要とする場合が出てくると思う。

山浦保育園について

問 保育園の現状は。

答 平成28年12月現在10人の入所児童がいる。

問 今後の方向性は。

答 入所児童が現行6人のままで推移した場合、平成29年度の基金取り崩し予定額は1,170万円程度で基金残高が600万円弱となり平成30年以降の運営は厳しい状況となる。当地域で少しでも長く保育の提供が継続できるよう山香民生福祉会と協議を重ねたい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ほり のりよし
堀 典義議員

ワーキングプアについて

問 「働けど働けどわが生活楽にならざり…」が今日の貧困である。杵築市の実態は。

答 働く貧困層とは一般的には年収200万円以下の労働者を指す。しかし同居家族に一定の所得等があり、一概に言えない世帯もある。参考杵築市の対象者は20代から50代で合計3,448名。

問 国がまとめた貧困率は16.3%で日本人の約6人に1人が該当する。杵築市での施策は。

答 ひとり親世帯は、所得により児童扶養手当や就労支援補助や資格取得費補助、児童クラブの利用料軽減事業に取り組んでいる。

問 子ども食堂が全国で広がっている。杵築市の状況は。

答 県内では16か所で、杵築市では南台区の1か所で実施。

問 法律では貧困対策の推進は、国や自治体の責務と規定している。来年度、ひとり親家庭全世帯に生活実態アンケートを行い、子どもの貧困対策推進計画を作成、子ども食堂の開設も盛り込む。

健康寿命と要介護について

問 介護認定率下がっているが健康寿命の延伸となるのか。

答 要介護認定率の減少で健康寿命が伸びた。

問 在宅の要介護者と家族に対する支援状況はどうか。

答 杵築市では、在宅介護の家族の介護手当は月額5千円を支給。一定の要件の場合、紙おむつなどの支給を行っている。

問 緩和型サービスの報酬が低く抑えられているのでは。

答 県内他市町村の状況を確認し、今後検討を行う。

移住及び定住への取組について

問 移住・定住支援策を具体的に。定住促進補助事業として、新築購入支援、引っ越しの補助、空き家改修費等補助事業では改修支援、引っ越しの補助などを行っている。また、子育て世代応援家賃補助、新婚世帯家賃補助を行っている。

問 移住の新婚世帯応援家賃補助金を2年に延長はできないか。

答 杵築を好きになり、移住をしてくれる方、空き家の利活用へ御協力下さる方に手厚くしたい。現在いる方が外に出て行かない取組も大切。

市職員の高卒採用枠の策定について

問 杵築市の定住促進のために高校卒採用枠を設定できないか。諸般の事情から進学しない、できない人もいる。

答 現在市の採用試験は、高卒・大卒と区別なく実施している。多く地元の方に応募していただきたい。



とみく せいいち
富来 征一議員

メス猫の不妊治療代の支援について

問 メス猫等の捨て猫が目立つ。不妊手術費用の支援はできないか。

答 捨て猫等を増やさないために、大分県の補助事業を利用し別府市が行っている。そのためには地域的に取り組むことが必要であり相談があれば考えていきたい。

まち・ひと・しごと総合戦略（農水産業）について

問 安定雇用の創出、新しい人の流れを作る等、戦略を策定しているがどのような方法があるのか

答 基本項目を次の4項目に設定。第1に次世代をつなぐ（杵築スタイル）農林水産業の開発。第2に杵築ブランドづくり。第3に世界農業遺産のシンボル七島イの復活。第4にきつと好きになるグリーンツーリズム（農村交流）の活用。また、杵築ブランド認定発表会の開催等、ブランド販路開拓、首都圏での交流販売会の開催を計画する。以上の事の実施により雇用や人の流れを作ることができると考えている。

問 農水産業での労働人口の確保について市の考えは。

答 労働人口の対策は大きな課題である。労働人口の確保に関する特効薬はないのが現状である。

問 総合戦略を地道に取り組み、人口流出を抑制し、就農支援策により新規就農者を増やしていく事が必要だと思う。

問 中山間地での組織作りについて。

答 農業継続は厳しい状況にあると認識している。生業栽培では中山間地に合った品目選定、試験栽培に取り組んでいる。担い手対策として集落営農組織等、共助による継続を目指したい。



中山間地にある耕作放棄地

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ふじもと じろう
藤本 治郎議員

防災対策について

問 津波避難訓練の成果と反省は。

答 1,091世帯・1,834人と昨年より100名弱増え、消防車20台・消防団員100名で広報活動をし、消防・警察にも協力を頂いた。また、屋外スピーカーの音量を上げ、緊急速報メールを配信した。反省点はあるが、市民に迅速に伝達する事に取り組む。

問 消防団に大規模災害に向けた実践的な訓練を通し、消防との連携強化を図っては。

答 昨年からポンプ4台連結しての中継訓練等、今後も考えていく。

問 防災士への支援を強化すべきでは。

答 310名が登録、ベストや帽子の支給と研修は無料で参加でき。各防災士協議会の支部単位などへの補助については昨年度から住民自治協議会が「防災・防犯に関する事業」に取り組む場合に交付額を加算している。それ以外は無い。

問 消防団と同じように支援して欲しい。

問 高齢者の運転免許証の自主的返納への取組は。

答 コミュニティバスやデマンドタクシー・大分交通共通乗車券のいずれか1万円相当を贈呈。県下

568店舗・杵築市37店舗での割引もある。

問 車は生活に密着している、事故防止の為に取組を強化して欲しい。

地域振興について

問 道の駅調査で、国道の交通量と今後は。

答 10号線7,270台、213号線6,507台、空港道路11,684台。現在、場所・面積・コストを調査し、可能性のある事業者に取り調査し、事業選定に1年・建設に1〜2年・用地買収になれば4〜5年位かかる。

問 自治協活動強化に「エコミュージアム構想」を取り入れては。

答 先進地を研究し、積極的に検討していきたい。

問 市営サッカー場の人口芝管理強化で負傷者の撲滅を。

答 昨年度は55,000人利用、負傷者の報告も受けているので人工芝の管理は早急に実施する。

山香病院について

問 山香病院スタッフの充足状況は。

答 医師の確保が一番難しいに進んでいない状況。次が薬剤師である。看護師は30代40代が不足、中途採用で補強していく。

問 大きい病院は看護師の短期大学を併設して対応、わが市も広域連合で取り組み、スタッフの確保と定住促進を進めてもらいたい。



いわお いくろ
岩尾 育郎議員

給食センターの建替えについて

問 以前、1か所であれば15億円、2か所であれば17億円程度という答弁があった。給食センターである以上、衛生環境の基準と労働環境の基準は当然クリアすべきだが、その上でいかに廉価な施設が建築可能なのか検討すべきではないか。

答 建物本体については豪華なものを作る必要はないと考えている。事業費については専門業者等の意見を参考にしながら、職員である建築士に十分検討させたい。

問 給食センターの建替えについて検討委員会が設置され、その答申があつてからすでに2年半以上が経過しているが、市長はいつ決定するつもりなのか。

答 現在、決定のための具体的な作業を進めているところであり、時期については自分の任期中、できるだけ早い時期に方針を明らかにしたい。

市立山香病院について

問 検討委員会の資料は、現在山香町内にある2つの病院と3つの診療所が20年先、30年先も存続することを前提に作成されているが、例えば博

愛病院は、建物の老朽化が相当進んでいるが、建替え等の情報は把握しているのか。

答 民間病院に関する事なので答弁は差し控えたい。

問 博愛病院の建替えはもちろん、診療所にしても、先生方も60代、70代となられており、10年先、20年先がどうなるのか後継者の問題も含めて情報を収集することは非常に大切なことと考えるが、その結果で検討の方向性も全く変わってくるのではないか。

答 市内の医療機関に対して個別にアンケート調査を行い、将来的な考えを聞きながら検討委員会の中で示せばと考える。

問 資料の中に、20年先、30年先の決算見込みが出てくるが、その中に平成25年ベースでの見込みが出てくるが、平成25年度（ほぼ半年間院長不在）は通常の経営状態での赤字という認識なのか。

答 通常の経営状態における赤字という認識は全くない。

問 わざわざこの数字を持ち出していることに意図的なものを感じているが、本来最初に議論すべきは、病院をどこに建てるのかではなく、将来にわたって市民病院をどのような運営方針のもとでどのような病院に作り上げていくかということではないのか。

答 4回目以降の委員会の中で、どのような診療機能を持たせるのかも含め十分議論していきたい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI

第5回 市民との意見交換会を行いました。

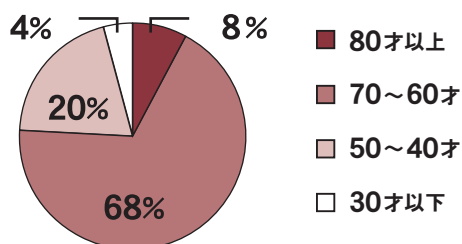
昨年10月に開催しました第5回市民との意見交換会では一昨年を上回る194名の皆様のご参加をいただきました。

また、今年はテーブルごとで議員も交えて意見交換をする手法を市内数箇所でもらせていただきました。今までとは違い、双方向で意見を交換することができたのではないのでしょうか。今後は出席割合が低い世代や女性への働きかけを行うとともに、広範なかたの意見を傾聴できる様、取り組みたいと思います。



東会場

年代別出席者割合





市民との意見交換会で出された質問や意見



市民との意見交換会で出された要望（抜粋）



立石会場

- ◆ ケーブルテレビの静止画像は大田地域では2か所ある。積雪状況などが分かるような実用的な場所にカメラを設置してもらいたい。
- ◆ 暁谷亭からスーパー 青木の先の信号機まで緑の路側帯を設置してもらいたい。
- ◆ 永代橋が古く狭いので歩道を設けるよう県に要望してほしい。
- ◆ 県道成仏杵築線の草場のところの拡幅とU字溝への蓋の設置を県に要望してほしい。

- ◆ 大田杵築線他県道市道の雨水対策や落ち葉等道路の点検をもう少しこまめにしてほしい。
- ◆ 空き家を市で買い上げ移住者に提供することも考えてはどうか。
- ◆ 杵築中学校の進捗状況を市民にも分かりやすいように知らせしてほしい。
- ◆ 農業の法人化の比率を上げるよう、行政が指導力を発揮してもらいたい。
- ◆ 漁業の体験学習や魚食の学習会をしてもらいたい。
- ◆ 山香病院の小児科の巡回診療を大田地域にできないか。
- ◆ 山香病院の交通アクセスが悪い。
- ◆ 11時までの診療受付時間を延ばせないか。
- ◆ 市長と市民の語る会がないので開いてもらいたい。
- ◆ 生薬栽培の投資と成果を毎年公開して欲しい。
- ◆ 夜でも人通りができるようなイベントを考えてもらいたい。



北杵築会場

議会・意見交換会に対する意見（抜粋）

- ◆ 政務活動費の後払いをしてはどうか。
- ◆ 議会と区長会との交流会を毎年行ってほしい。
- ◆ 平日開催は若い人の出席は難しい。土日開催を検討してはどうか。
- ◆ テーマを早く知らせしてほしい。
- ◆ 女性の参加が非常に少ないので参加を働きかけては。
- ◆ 小学校区単位での開催を希望する。
- ◆ 議会だよりの議員名にルビをふってほしい。党名・所属会派も記入してもらいたい。



平成29年度 当初予算に対する要望事項

杵築市議会では昨年第5回目となる「市民との意見交換会」や各種団体との意見交換会を通して市が直面する諸課題の掘り下げを行いました。人口減少が急速に進み歳入の増加が見込めず財政状況は今後ますます厳しさを増していく一方で、市民ニーズは多様化しています。効果的な予算を編成し、きめ細かい対応を求めるため永松市長に要望書を提出しました

予算への反映を含めた内容

- 1 農業施策に対する補助金の継続
- 2 海底耕耘事業の継続
- 3 商工会補助金の継続、金額の維持
- 4 事業ができる観光協会補助金の継続
- 5 学校教育支援センターの設置
- 6 杵築市営サッカー場の管理の充実
- 7 介護予防・日常生活支援総合事業
- 8 各種委員報酬の見直し
- 9 市営野球場観覧席の早急な整備
- 10 廃校跡地の利活用の積極的な検討
- 11 婚活事業へのさらなる取組の強化
- 12 道路愛護報奨金の対象となる集落の年齢基準の見直し
- 13 建設業協会（者）に対する支障木、草刈予算の配慮



きもの議会



一昨年、市議会が行った市民との意見交換会の中で、市民の方から「市議会を和服でやってほしい」という要望を受けて第4回定例会開会日の取組となりました。

きものを着て議会を開催することで、市外に杵築市を「きものが似合うまち」として広く情報発信し、一層の観光振興に繋がることを願っています。

第1回定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

3月2日(木) 平成29年第1回定例会開会
 3月7日(火) 一般質問
 3月8日(水) 一般質問・議案質疑
 3月9日(木) 一般質問予備日
 3月10日(金) 産業建設常任委員会

3月13日(月) 厚生文教常任委員会
 3月14日(火) 総務常任委員会
 3月15日(水) 予算特別委員会
 3月16日(木) 予算特別委員会
 3月21日(火) 平成29年第1回定例会閉会

一般質問の再放送は一般質問の行われた週末になります。

広報広聴委員会委員長 二宮健太郎

張つていきたい。

市民の皆さんに分かりやすい紙面で今後も届けるよう委員一同、頑

張つていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

後押ししていきたい。また広報公

聴委員会が編集する議会だよりも

編集後記

